



## 新人看護師基礎研修「一年間の振り返りと今後の抱負」

### 3階東病棟 松田

昨年入職したころは覚える事が多くあり、急性期病棟の忙しさに驚きました。失敗やうまくいかないことも多く先輩方や患者に迷惑をかけてしまい不安な毎日でしたが、3階東病棟の先輩方の手厚いサポートのおかげで安心して働け、一人でできる処置やケアも増え、看護師としてのやりがいを感じることができました。4月からは新しい部署になりますが、3階東病棟で学んだ事を活かし、今よりも視野を広げ患者の思いを理解し、成長していけるように頑張りたいと思います。



### 4階東病棟 萩野

昨年4月に入職し、4階東病棟や新人研修でたくさんの事を学びました。初めての事ばかりで躓いてばかりの私に先輩方が優しく接してくださり、正しい方向へ導いてくださいました。患者との関わりやタイムスケジュールなど、まだまだ至らない点ばかりですが、先輩方のような患者に寄り添える看護を目指していきたいと思います。



### 4階西病棟 橋口

臨床の場で働き出してから1年経ちました。日々患者と向き合い、自分の行った看護がどのように影響を及ぼしたのか振り返る中、まだまだだなど感じる事が多く、そんな日々の中で先輩方が優しく教えて下さり、成長することが出来ました。知識や経験はまだまだ不足していることがありますが、患者に寄り添える看護師になれるように努力を続けていきたいです。



### 手術室 村木

この一年で手術室の業務を覚えながら、基礎研修では、患者一泊体験を通して患者の気持ちになることで、患者に寄り添える看護が必要だと知ることが出来ました。また、人工呼吸器の研修では、マスクを実際に装着し、取り扱い方法を学びました。毎月研修があり、そのたびにまだまだ勉強が足りないと感じました。この1年は、手術室の方々に支えられ乗り越えることができました。2年目のローテーションでは、病棟へ行き、今まで学んだことを活かし、また新たな業務を勉強して日々研鑽していきたいと思います。





## 看護協会主催：新人看護職員卒後実地指導者研修を受講して

3階東病棟 緒方

4階東病棟 甲斐

今回鹿児島県新人看護職員卒後研修実地指導者研修会に参加しました。今回の研修で新人看護師への指導や精神的支援などについて講義を受け、グループワークなどを行いました。患者と関わる中で個別性のある看護を行っている様に、新人看護師へもその人にあった個別性のある関わりが必要だと学びました。指導やサポートに関してはまだ不安なこともたくさんありますが今回の研修を活かして自分自身も新人看護師と成長していきたいと思いました。



1年間プリセプターを行わせて頂いた中で、知識不足や指導の難しさ、伝えることの力不足を痛感した1年でした。

先月、看護協会が実施している研修に3日間参加させて頂き、自分自身は伝えた・教えたつもりでも、相手がそのことを理解していないとそれはただの「独語」であり教育とはなっていない事、一人一人の個性を生かして共に成長していく事、病棟全体で情報共有し共に育てる環境づくりが大切である事を学ぶことができました。

2024年度はエルダーとして、プリセプターと協力しながら今回の学びを生かしていきたいと思えます。

## 看護協会主催：実習指導者講習会に参加して

3階東病棟副師長 満園

令和5年度11月20日から、33日間の実習指導者講習会に参加してきました。看護教育過程・教育原理・教育方法と基礎的内容から教育指導における効果的な指導方法を学ぶ事が出来ました。他の病院の方とも交流できる機会となり、現場で悩んでいることなどを話すことができ、今後のつながりも構築することが出来ました。講習会を通し、学生さんに、これもあれも学んでほしいと、私の願いが強く学生主体で関わっていなかったと振り返ることが出来ました。今回の講習会で学んだことを病棟スタッフに伝承し、学生が当院に実習に来てよかったと思える指導や実習体制を再構築していきたいと感じました。



## 日本看護協会主催

## 認定看護管理者教育課程：ファーストレベル教育を受講して



4階西病棟主任 林

手術室主任 宮内

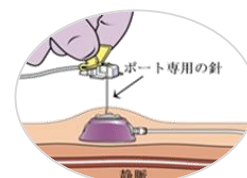
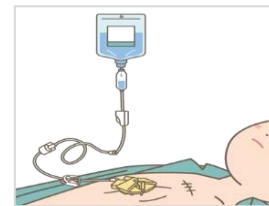
今回、認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育を受講させていただき、看護管理者とは様々な知識が必要であることを感じました。スタッフがモチベーションを維持させながら働くことができるような環境作り、人材育成、病棟や病院の目標を周知させ、目標達成のために全員で取り組んでいかないといいけないこと、そのためには自分は何ができるのか考える機会となりました。また、講義や他施設の方々とグループワークや意見交換を行うことで、学びとなりました。今後、研修で得た知識を還元できるように頑張っていきたいと感じました。

主任として業務に携わる中、どのような視点・知識・態度を持つべきか、曖昧な状態であり、日々不安がありました。『管理者として、自部署の責任者としてどうすれば良いか』を常に考え、それと同時に現状維持ではなく改善するために、個人ではなく組織として考えていかなければならない。労務管理、資源管理、マネジメントなど、今までぼんやりとしていた部分でしたが、受講する中でこれらが結びつき視野が広がったと実感しました。また、自部署の問題点・あるべき姿を掘り下げたことで、課題として明確化できました。今回の学びを活かし、今後も研鑽を重ねていきたいと思えます。

## 第38回日本がん看護学会学術集会(2/24~25)

今回、初めてがん看護学会へ参加させて頂き、他病院での取り組みについて学ぶことができました。CVポート管理の取り組みについてのセミナーに参加し、今後、治療を受ける患者の増加や、治療を重ねることで末梢血管確保が困難になる患者が増えることが考えられます。ポート埋め込みの患者が増えれば、ポート管理の手技習得しているスタッフがさらに必要になり、現在CVポートの抜針ができるスタッフも限られているため、抜針方法ができるスタッフの育成や、インフューザーポンプを用いている患者・家族へポート抜針の手技習得の指導を行い、抜針の為の受診を減らすことで負担の軽減につながる取り組みをしていきたいと思っております。

外来 福永



## <2023年度 看護研究発表>：各部署のテーマと発表者



- 【外 来】 救急外来でのI.Cに対して患者・家族の思いや反応を看護に活かす為に  
～記録の定着を目指して～  
発表者：成 枝
- 【手 術 室】 搬入時における手術室看護師の意識調査  
発表者：田 中
- 【H C U】 心筋梗塞クリティカルパスの運用による二次予防に対する教育的指導について  
発表者：久 保
- 【3階東病棟】 腓骨神経麻痺を発生させないための看護師の意識変化の取り組み  
キーワード：腓骨神経麻痺 MMT  
発表者：佐 藤
- 【4階東病棟】 心不全終末期患者に対するACPの取り組み  
～現状と今後の課題～  
発表者：田 代
- 【4階西病棟】 脳卒中患者の指導介入基準を作成・使用を試みて  
キーワード：脳卒中、脳卒中の看護、患者指導、家族指導  
発表者：早 瀬
- 【回復期リハビリテーション病棟】  
スタッフへ失禁関連皮膚炎時の適切な処置についての意識調査  
発表者：王子野

職員の方は、院内ホームページより e-ラーニングで視聴ください。

頸椎術後の患者が急変したことを想定し、救急シミュレーションを行いました。

頸椎（髄）損傷を疑う場合や頸椎術後の患者の気道確保を行う時は、頭部後屈あご先挙上よりも、頭部の中間位を保つ下顎挙上が優先される場合もあるため、医師の指示に従い気道確保を行うことを理解してもらいました。回復病棟は、急性期病棟より急変に遭遇することが少ないため、急変の知識を再確認できるように救急シミュレーションを計画していきたいです。

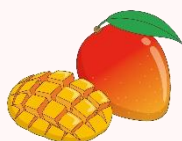


## マイフォーム



### 3階東病棟 看護補助者 ジュライラ

どの国にも保存または適応されてきた独自の文化があります。日本が日出ずる国と呼ばれるなら、フィリピンはその有名な自然の美しさ、豊かな生物多様性、主要な観光名所から東洋の海の真珠ともよばれます。フィリピンは豊富な天然資源に恵まれています。私達はここで毎日の食べ物を手に入れることが出来ます。これが経済が繁栄する理由です。この天然資源の例には農業や漁業が含まれます。美しいビーチ、マンゴー、バナナ、ココナッツ、パイナップルなどの美味しい果物が豊富な事でも知られています。フィリピンにはタガログ語を含む111以上の方言があります。フィリピンは食べ物が美味しい事で有名です。フィリピン料理は一般的に甘く大胆で風味豊かですが日本料理はより繊細な味わいです。そして食べる時はスプーンとフォークを使いますが日本では箸を使います。フィリピンでは挨拶と敬意を表す為にパグママーノ (PAGMAMANO) をします。パグママーノは、誰かや年配の人に挨拶する時にお辞儀をして、手を取り、挨拶している人の額に手を押して行われます。日本とフィリピンには家族の価値観を重視、どちらも年長者を尊重するなどの類似点もあります。フィリピンのフレンドリーで勤勉で礼儀正しくこれがフィリピンが他の国よりも優れている理由の多くです。しかし、文化の違いに関係なく重要な事はお互いを受け入れ、尊重することです。文化の違いが私たちを互いに引き離すべきではありません。むしろ、文化的多様性は全人類の利益の為に総合的な力を提供します。



### <編集後記>

2019～2023年度の5年間、皆さんの協力のもと無事に発行できたことに感謝しています。

次号から担当を引き継ぎますが、今後ともご協力の程よろしくお願いたします。(田口)

